第90期中間報告書

（平成23年４月１日から平成23年９月30日まで）



株式会社 オーバル

株主の皆様へ

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社の第90期上半期（平成23年４月１日から平成23年９月30日まで）が終了いたしましたので、ここに営業の概況と中間決算の結果をご報告申し上げます。

当連結会計年度の上半期におけるわが国経済は、東日本大震災以降急激に落ち込んだもののサプライチェーンの復旧に伴う鉱工業生産の回復や地上デジタル化への対応需要および省エネ型家電製品、クールビズといった節電関連特需による個人消費の回復などにより、緩やかながら持ち直しの動きを見せてきました。しかしながら欧州諸国の財政・金融不安、米国の景気や財政への懸念による円高に加え、株式市場の低迷と先行き不透明な状況が続いております。

このような経済情勢の中で当企業グループは、中期経営計画「オーバル フェニックス　プラン　2015」に掲げた海外システムビジネスの拡大、新市場開拓等の諸戦略を推進するとともに製油所等の復旧工事対応を行ってまいりました。

製品としましては、当社の主力センサである新形コリオリ流量計“ALTImass”の高温タイプ（350℃）をラインナップに加え、また廉価形コリオリ流量計“CoriMate”のモデルチェンジを図り、精度向上とともに更に廉価化した“CoriMateⅡ”を発売いたしました。

新市場開拓としては、水ビジネス参入を目的とした４社（当社、東京計器株式会社、長野計器株式会社、株式会社チノー）の業務提携契約の締結や震災影響で注目されるLNG市場、二次電池市場への販促に注力してまいりました。

今後も激変する経営環境に対応すべく、顧客が求める新商品の開発を推し進め、変化に応じた新市場の開拓に注力し、内部統制整備のもとに様々なリスクに対応しながら、当企業グループとしての効率化と理念の達成に向けて、社会からその存在が望まれる企業を目指してまいります。

株主の皆様には、今後ともご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成23年12月

代表取締役社長　谷本淳

１．営業の概況

(1) 営業の状況

当連結会計年度の上半期における当企業グループの受注高は、海外プラントメーカー経由大口システム案件などに支えられ6,542百万円で前年同期比26.4%の増加、売上高も6,166百万円で前年同期比25.6%の増加となりました。

事業部門別で見ますと、センサ部門では、東日本大震災に伴う復旧需要もあり、当企業グループの受注高は3,717百万円で前年同期比14.2%の増加、売上高は3,739百万円で前年同期比23.1%の増加となりました。

システム部門では、海外大口案件や復旧工事対応などにより、当企業グループの受注高は、1,573百万円で前年同期比133.5%の増加、売上高も1,203百万円で前年同期比91.9%の増加となりました。

サービス部門では、顧客からのメンテナンス依頼はほぼ横ばいとなり、当企業グループの受注高は1,237百万円で前年同期比0.4%の増加、売上高は1,211百万円で前年同期比1.7%の減少となりました。

次に、市場別概況をご報告申し上げます。

受注面では、化学が976百万円で前年同期比16.9%の増加、電力・ガスは538百万円で前年同期比12.5%の増加、石油は609百万円で前年同期比8.2%の増加となりましたが、震災や円高影響の大きかった電気・輸送機械は1,066百万円で前年同期比10.2%の減少となりました。

売上面では、電気・輸送機械が1,187百万円で前年同期比32.4%の増加、化学は980百万円で前年同期比12.9%の増加、電力・ガスは427百万円で前年同期比11.8%の増加となりましたが、石油は453百万円で前年同期比10.1%の減少となりました。

輸出面では、海外システム案件が好調であったことから、受注高は1,340百万円で前年同期比86.6%の増加、売上高でも879百万円で前年同期比10.0%の増加となりました。

なお、当下半期以降に繰り越されました受注残高は3,578百万円となり、前年同期比75.0%の増加となりました。

利益面につきましては、営業利益は330百万円で前年同期比88.8%の増加、経常利益は332百万円で前年同期比82.7%の増加、中間純利益は189百万円で前年同期比463.6%の増加となりました。

(2) 企業集団の営業成績および財産の状況の推移

区　分（金額単位）	第90期上半期 平成23年９月	第89期上半期 平成22年９月	第　89　期 平成23年３月
売　　上　　高（百万円）	6,166	4,911	11,008
中間（当期）純利益（百万円）	189	33	307
１株当たりの中間（当期）純利益	8円46銭	1円50銭	13円71銭
総　　資　　産（百万円）	18,087	17,005	18,100

２．会社の概況　（平成23年９月30日現在）

(1) 株式の状況

①発行可能株式総数　　80,000,000株
②発行済株式の総数　　22,404,657株（自己株式3,775,343株を除く）
③株主数　　3,251名
④大株主の状況

株　主　名	株 式 数(千株)	持 株 比 率(%)
明治安田生命保険相互会社	1,900	8.5
東京計器株式会社	1,309	5.8
轟産業株式会社	1,071	4.8
日本生命保険相互会社	864	3.9
横河電機株式会社	512	2.3
株式会社みずほコーポレート銀行	450	2.0
株式会社損害保険ジャパン	422	1.9
加島淳一郎	355	1.6
加島淑子	311	1.4
財団法人井上育英会	300	1.3

（注）　持株比率は自己株式(3,775,343株)を控除して計算しております。

(2) 企業集団の従業員の状況

事業の部門の名称	従業員数（名）
センサ部門	229
システム部門	43
サービス部門	50
その他の部門	35
全社（共通）	278
合計	635

（注）1. 従業員数は就業人員数であります。
2. 全社(共通)として記載されている従業員数は、特定の事業の部門に区分できない販売および管理部門に所属している人員数であります。

中間連結貸借対照表

（平成23年９月30日現在）

（単位：千円）

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
（流動資産）	**(9,100,002)**	**（流動負債）**	**(3,572,791)**
現金及び預金	1,933,341	支払手形及び買掛金	1,142,606
受取手形及び売掛金	4,805,616	短期借入金	1,259,701
たな卸資産	1,941,975	リース債務	32,837
繰延税金資産	186,562	未払法人税等	117,071
その他	236,640	賞与引当金	262,654
貸倒引当金	△4,134	未払金	453,241
（固定資産）	**(8,987,197)**	その他	304,678
有形固定資産	**7,425,820**	**（固定負債）**	**(3,983,844)**
建物及び構築物	1,235,755	長期借入金	416,032
機械装置及び運搬具	374,868	リース債務	82,277
土地	5,576,237	繰延税金負債	138,678
リース資産	97,415	再評価に係る繰延税金負債	2,001,624
その他	141,543	退職給付引当金	1,258,706
無形固定資産	**77,843**	役員退職慰労引当金	48,063
借地権	16,646	環境対策引当金	13,801
リース資産	41,297	資産除去債務	20,556
電話加入権	9,599	負ののれん	567
その他	10,300	その他	3,535
投資その他の資産	**1,483,532**	**負債合計**	**7,556,636**
投資有価証券	365,473	純資産の部	
長期貸付金	10,891	**（株主資本）**	**(7,592,708)**
退職・役員保険	997,266	**資本金**	**2,200,000**
繰延税金資産	10,580	**資本剰余金**	**2,124,989**
その他	109,430	**利益剰余金**	**3,670,553**
貸倒引当金	△10,110	**自己株式**	**△402,834**
		（その他の包括利益累計額）	(2,775,535)
		その他有価証券評価差額金	11,456
		土地再評価差額金	2,867,572
		為替換算調整勘定	△103,493
		（少数株主持分）	(162,319)
		純資産合計	10,530,563
資産合計	**18,087,199**	**負債純資産合計**	**18,087,199**

中間連結損益計算書

（平成23年４月１日から
平成23年９月30日まで）

（単位：千円）

科目	金額	
売上高		6,166,538
売上原価		4,045,384
売上総利益		2,121,154
販売費及び一般管理費		1,790,382
営業利益		330,772
営業外収益		
受取利息	1,837	
受取配当金	6,977	
賃貸料	12,512	
保険返戻金	8,756	
その他の営業外収益	13,024	43,107
営業外費用		
支払利息	14,545	
為替差損	26,154	
その他の営業外費用	861	41,561
経常利益		332,318
特別損失		
固定資産除却損	279	279
税金等調整前中間純利益		332,039
法人税、住民税及び事業税	123,753	
法人税等調整額	△3,956	119,797
少数株主損益調整前中間純利益		212,242
少数株主利益		22,771
中間純利益		189,470

取締役および監査役（平成23年９月30日現在）

取締役会長	近藤健二
代表取締役社長	谷本淳
取締役 兼常務執行役員	奥野保
取締役 兼常務執行役員	昨間英之
取締役 兼執行役員	山路隆夫
常勤監査役	石田愼
常勤監査役	木下順一
監査役	加納信彦
監査役	池田力

（注） 監査役木下順一、加納信彦、池田力の３氏は、会社法第２条第16号に定める社外監査役であります。

本社・事業所および営業所

本社 〒161－8508 東京都新宿区上落合三丁目10番８号
（管理部 人事総務グループ） 電話（03）3360－5061

主要な事業所および営業所：横浜事業所および東北、神奈川、中部、大阪、岡山、九州営業所

本中間報告書中の表示単位未満の端数の取扱いは、金額および株式数については切り捨て、比率については小数第二位を四捨五入しております。

主 要 営 業 品 目

1．流量計
- オーバル流量計
- UF-Ⅱ流量計
- ハイショットサーボ1
- コリオリ流量計
- デルタ形流量計
- タービン流量計
- 電磁流量計
- 超音波流量計
- 熱式質量流量計

2．流量計周辺機器、関連機器
- ストレーナ（濾過器）
- 空気分離器
- 整流機器（フローストレートナ、ハニーベーン）
- バルブ遠隔駆動装置（VトルクⅡ）

3．流量計用各種電子計器
- バッチカウンタ
- 流量および密度演算器
- 積算計、指示計
- 流量変換器、流量補正器
- 電源装置（SUシリーズ）

4．自動制御、自動化装置
- タンクローリー出荷システム
- 連続比率混合装置（インラインバッチブレンダ含む）
- 自動出荷管理装置
- 自動サンプリング装置
- 比例注入装置

5．試験装置
- パイププルーバ（基準体積管）
- 基準メータ
- 基準タンク
- SVメータ（音速ノズル）
- 燃料電池用簡易評価試験装置（トレナビ）

6．品質管理計
- 粘度計
- 密度計

7．計装工事

株　主　メ　モ

事業年度	４月１日～翌年３月31日
期末配当金受領株主確定日	３月31日
中間配当金受領株主確定日	９月30日
定時株主総会	毎年６月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社　証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 ℡０１２０－２３２－７１１（通話料無料）
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行う。 公告掲載URL　http://www.oval.co.jp （ただし、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない事由が生じたときは、東京都において発行する日本経済新聞に公告いたします。）

（ご注意）

１．株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。

２．特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。

３．未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。